

3歳児クラス 11月 第2回 「わゴムはどのくらいのびるかしら？」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> ・保：「今日いいもの持って来たんだー」とゴムとリボンを提示。 ・講：「どっちが長いかな」とゴムとリボンの長さを比べながら、同じ長さ？あれ？こっちは（ゴム）何だかもっと伸びるよ」と伸ばして見せ（途中で曲がってみたり「まだまだ…」とお部屋から出て行くなど楽しく提示）ゴムへの興味を高める。「一体、どこまで伸びるんだろうね？」と絵本に繋げる。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ゴム3M・リボン3M 	保育士の役割	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①ゴムがどんどん伸びていく様子を楽しめるように読み進める。 ②最後のページでは、ベットの端のゴムや部屋の中にちりばめられたおもちゃにも気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムとリボンを持って登場 	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	実験	ゴムに興味を持ち伸び縮みを体感し、楽しんで実験に参加する	実物参照
設問	ゴムはどのくらい伸びるでしょうか？ 実験してみましょう			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「ずいぶんゴム伸びたね！でも無事にお家に帰れて良かったね」 ・保：「お届けものです」と平ゴムの入った封筒提示。 			実験用平ゴム(45cm) 1人1本
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：封筒から平ゴムを取り出し「びよーん、びよーん」と伸ばしたり縮めたりを楽しく繰り返し提示。「『みんなもどれくらい伸びるか実験してみてください』だって。どのくらい伸びるかやってみる？」と子ども達の興味を引出しゴム配布。 ・子：両手でゴムを持ってゴムの伸び縮みを体感する。 ※ゴムの両端に結び目があります。しっかり握りながら手を離さないように約束し、安全に配慮しながら、動きを大きく楽しめると良い 例) ・足でゴムの真ん中部分を踏みながら両手で伸ばす。※要注意 ・伸ばしながら物の高さ、長さを測る。「長ーい＝伸ばす」「短ーい＝ゴムがたるむ(縮む)」など比較のことばで表現するのも良い。 ・講：「ゴムって伸びたり縮んだり楽しいね！」と称賛。ゴムは一旦回収する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・封筒提示 ・安全への配慮 ・子どもたちと一緒にやって実験を楽しむ ・ゴム回収
活動②	ねらい	制作	ロケットを飛ばすことをイメージし、意欲的に制作に参加し、完成したロケットを使って飛ばすことを楽しむ	実物参照
設問	ゴムを使って「輪ゴムロケット」を作ってみよう			教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「封筒の中にまだ何か入ってる」と言いながら「輪ゴムロケット」の完成品(輪ゴム付き)を提示。 			ロケット用カード 1人1枚
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「輪ゴムロケットだって。みんなで飛ばせて遊んでみてね！だって」と子ども達の興味を引きながら、仕様書に沿って飛ばす準備を整え「よく見ててよ！3・2・1GO！」とロケットを飛ばせて見せる。「パチン！」と音を立て、ゴムの力でジャンプする「輪ゴムロケット」に驚きながら「みんなも作って飛ばせてみる？」と誘う。「今日も材料はおはじき5個と交換です」 			輪ゴム 1人1本 完成見本 制作指示書 ★クレヨン ★セロハンテープ ・おはじき ・皿
活動内容	数にチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・子：前回同様おはじき「5個」と「3個」の入った2枚のお皿を比較して「5個」入った皿を選び材料と交換する。(又はその場で交換) ※前回の結果や理解度によって、難易度・交換方法を変えて良い。 ・講：別紙「指示書」を参考に、見本提示をしながら ①カードに絵を描く ②輪ゴムを溝に掛けテープで止める 以上を子ども達と一緒に進行していく。 ※特に輪ゴムをねじって掛けるところが難しいので講師、保育士が順番に補助していく。 ・子：カードに絵を描き、講師や保育士の補助を受けながらゴムを掛けられた子から飛ばす練習をする。 		

<ul style="list-style-type: none"> 講：全員が出来上がったら、ロケットを使って実際に遊んでみる。 ※この時、環境の安全を確保し、立って机の上、又は床の上で遊べると良い。 ※お友達や先生と「どっちが高く飛ぶか」競い合うように飛ばしても楽しい。 ※テープのはがれは随時講師、保育士が補修していく 講：頃合いを見て飛ばしっこ終了の合図を出す。ロケットの完成と皆で楽しく遊べたことを称賛し活動を終了する。 	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> おはじきと交換に材料を渡す 制作フォロー 環境整備安全の配慮 子ども達と一緒に飛ばしっこを楽しむ ロケットの補修
---	--

数チャレ	数	「5個」の数の確認ができる	教材
設問	「5個」入ったおはじのお皿を選んでロケットの材料と交換しましょう		
活動内容	※<活動②>の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	絵本への導入をゴムとリボンを用いてしっかり行えたか
活動① 実験	子ども達の間隔を空けて安全への配慮を行ったか
活動② 制作	意欲的に制作活動に参加させることが出来たか (保護者参観と重なった場合、クラスの状況によっては保護者を巻き込んで活動を行う)
数チャレ	活動②に含む

楽習タイム♪

*** テーマ・興味 ***

ゴムで遊ぼう

<遊び方>

- 身近にあるゴムを見つけ、興味を持ってその変化を実際に楽しんでみましょう。また学習タイムで作った様なゴムを使った作品やおもちゃを作ってみるのも楽しいですよ。

※下の写真は遊び方の一例です。

- ① 輪ゴムを長く繋げてみました。
- ② 箱に切り込みを入れ輪ゴムを掛けて、音の出る楽器！
- ③ 保育園を通して購入可能なオリジナルのゴムを使った知育教材もあります。それで作った作品です。

①



②



③

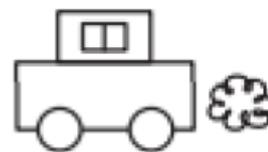


ゴムを使った遊びは指先の力を付け巧緻性を高めるのにとってつけの教材ですよ！



今月のえかきリズム

*** くるま ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

